

焼津市立大井川中学校いじめ防止基本方針

【PTA・地域との連携】

- ・ 参観会、保護者会等を通して、いじめ問題に対して連携して取
- ・ 学校保健委員会等地域人材を積極的に活用する。
- ・ いじめの早期発見のため、保護者への家庭連絡等きめ細かい連携をはかる。

【校内研修等】

- ・ 道徳の時間では、いじめに関連する一つ一つの道徳的価値についてじっくり討論できるようにする。
- ・ 学級活動、生徒会活動等では、日常の生活との関連を図り、子どもが主体的にいじめをなくすために取り組む活動の充実をはかる。
- ・ 縦割活動で自己肯定感を育む。

【未然防止の在り方】

- ・ 職員研修を充実し、いじめ防止対策に関する研修を定期的実施する。
- ・ 二者面談等を通して、子どもと触れあう機会を意図的に設ける。
- ・ 縦割活動等を通して、自己肯定感を育み、自らいじめ根絶の継続的な活動を実践させる。
- ・ 子どもの豊かな情操と道徳心を養い、心の通う人間関係づくり、コミュニケーション能力の素地を養うため、全教育活動を通じた道徳教育、体験活動の充実をはかる。
- ・ 小学校と連携し、より具体的な情報や支援指導の共有を図る。

【目指すこども像】
 ”自ら創る”
 自己肯定感と自己有用感をもち、主体的に行動できる子ども

【いじめ対策委員会】

(1) 構成メンバー
 校長、教頭、主幹教諭、生徒指導主事、学年主任、養護教諭、心の教室相談員、支援員、スクールカウンセラー

(2) 活動内容

- ・ いじめ情報の迅速な共有、事実関係の聴取、指導支援体制の確立
- ・ 重大事態における調査組織の母体として活動
- ・ いじめ防止及び対策についての取組の実施状況を学校評価の項目に位置づけ
- ・ 学校評価の評価結果をふまえた日常的な取組の改善

【生徒指導体制】

(1) いじめの早期発見に努める

- ・ 定期的にアンケートを実施し(年間11回)、早期発見、早期指導を行う。

(2) 組織的に指導できる態勢の確立する。

- ・ 情報を得た場合は、即座に「対策委員会」を招集し、即日対応する。
- ・ 「対策委員会」を中心に、情報収集から問題解決まで継続的にケース会議を行う。
- ・ 指導・支援体制は、最も適切なものが最も適切な役割を担うようにチーム(組織)体制を組む。

【早期発見の在り方】

- ・ いじめアンケート(校内では「生活向上アンケート」と呼ぶ)を年間11回実施し、情報を継続的に集約する。
- ・ 二者面談等、子どもと触れあう機会を意図的に設け、早期発見を目指す。
- ・ 心の教室相談員、SC等の不登校部会、生徒指導部会への参加で気になる情報の収集を行う。
- ・ 日常の観察を基本としつつ、連絡帳の活用、保護者への家庭連絡、家庭訪問等を積極的に行う。
- ・ 子どもに対しては、一人の先生だけでなくどの先生も相談にのるというメッセージを常に発信する。
- ・ 年間11回のアンケートとは別に、いつでも生徒がアンケートを書けるようにアンケート(申し出用紙)を常備しておく。

【早期対応の在り方】

- ・ いじめ対策委員会(以下委員会)を立ち上げ、即対応する。
- ・ 委員会では、役割分担を明確にし組織として取り組む。
- ・ いじめを行った生徒・保護者に対して適切な指導を行うと共にいじめを受けた生徒のケアを手厚く行う。
- ・ 随時、多方面から情報を収集し、いじめの全体像を把握しながら、具体的な指導、支援方針を修正していく。
- ・ 教育委員会に報告するとともに、必要に応じ関係諸機関と連携協力をはかる。

【関係機関等】

- ・ 中央児童相談所
- ・ 焼津市こども家庭相談課
- ・ 焼津市適応指導教室
- ・ 焼津警察生活安全課
- ・ わおん
- ・ 焼津市SSW
- ・ 藤枝警察スクールサポートセンター

【教育相談体制】

- ・ 心の教室相談員と連携し、いじめに関わる情報の共有や不登校生徒へのよりよい対応をはかる。
- ・ ケース会議や生徒指導部会へSCが参加することで共通認識をもって対応する。
- ・ 「生活向上アンケート」をとり、結果を二者面談等で生かしていく。

【継続支援の在り方】

- ・ 生徒に対する親身な教育相談を一層充実させる。
- ・ いじめを継続させないための弾力的な対応を講ずる。
- ・ いじめの問題の様態によっては、PTAと協議したり、保護者会等を実施したりするなど積極的な情報交換の場を設ける。
- ・ 子どもにとって、より相談しやすい環境作りに励む。
- ・ 子どものグループ替えや座席替え等、必要に応じて子どもの立場に立った弾力的な措置を講じる。
- ・ 各家庭と連携し、いじめに関する取組のための具体的な資料として役立ててもらえるような工夫を行う。
- ・ その場、その時の指導だけではなく、様子をみながら継続的に面談・声掛けを行う。

焼津市立大井川中学校 いじめ防止対策年間計画

月	①組織・連携・研修・評価 等	②未然防止	③早期発見・対応と継続的支援
4	【P】いじめ対策委員会全体会（基本方針や共通理解） 【P】生徒理解研修会 【C】生活向上アンケートで評価	【D】学級開き、ルール作り 【D】縦割り活動づくり 【D】授業規律の周知	【D】学級日誌、生活ノート、健康観察等から早期発見を目指す。 【D】ネットパトロールへの対応
5	【D】拡大不登校部会等の生徒指導・支援打合せ 【D】生徒に対する情報交換 【C】生活向上アンケート実施 【A】生活向上アンケート点検・評価	【D】修学旅行、校外学習を通じた仲間づくり 【D】登下校のあいさつ運動	【D】大井川地区子どもを語る会（小中連携情報交換会） 【D】生活向上アンケート対応
6	【D】拡大不登校部会等の生徒指導・支援打合せ 【D】生徒に対する情報交換 【C】生活向上アンケート実施 【A】生活向上アンケート点検・評価	【D】登下校のあいさつ運動 【D】縦割活動を通じた人間関係づくり 【D】特別活動への支援	【D】大井川地区子どもを語る会（小中連携情報交換会） 【D】二者面談実施（生徒理解） 【D】生活向上アンケート対応
7	【C】学校評議員会実施 【A】1学期の取組について点検・評価	【D】夏季休業の生活について事前指導	【D】三者面談実施（生徒理解、保護者との連携） 【D】生活向上アンケート対応
8	【D】生徒指導に関する職員研修	【D】夏季休業中の生徒の生活の実態把握、生活指導、情報交換 【D】ボランティア活動の推奨	【D】関係生徒の家庭訪問（保護者との情報交換）
9	【D】拡大不登校部会等の生徒指導・支援打合せ 【D】生徒に対する情報交換 【C】生活向上アンケート実施 【A】生活向上アンケート点検・評価	【D】行事を通じた人間関係づくり（体育大会） 【D】縦割活動を通じた人間関係づくり	【D】大井川地区子どもを語る会（小中連携情報交換会） 【D】生活向上アンケート対応
10	【A】いじめ対策委員会全体会（職員研修） 【C】生活向上アンケートで評価	【D】行事を通じた人間関係づくり（文化発表会）	【D】大井川地区子どもを語る会（小中連携情報交換会） 【D】生活向上アンケート対応
11	【D】拡大不登校部会等の生徒指導・支援打合せ 【D】生徒に対する情報交換 【C】生活向上アンケート実施 【A】生活向上アンケート点検・評価	【D】縦割活動を通じた人間関係づくり	【D】大井川地区子どもを語る会（小中連携情報交換会） 【D】生活向上アンケート対応
12	【D】拡大不登校部会等の生徒指導・支援打合せ 【D】生徒に対する情報交換 【C】生活向上アンケート実施 【A】生活向上アンケート点検・評価	【D】縦割活動を通じた人間関係づくり 【D】冬季休業の生活について事前指導	【D】三者面談実施（生徒理解、保護者との連携） 【D】生活向上アンケート対応
1	【C】生活向上アンケート実施 【A】生活向上アンケート点検・評価	【D】縦割活動を通じた人間関係づくり	【D】大井川地区子どもを語る会（小中連携情報交換会） 【D】生活向上アンケート対応
2	【A】いじめ対策委員会全体会（職員研修） 【C】学校評議員会実施 【C】学校評価による1年間の取組の成果、課題	【D】新生説明会で基本方針説明 【D】縦割活動を通じた人間関係づくり	【D】授業参観（保護者との情報交換） 【D】次年度学級編制情報交換会
3	【D】拡大不登校部会等の生徒指導・支援打合せ 【P】次年度の計画立案	【D】春季休業の生活について事前指導	【D】大井川地区子どもを語る会（小中連携情報交換会）